

大阪府工業指数2021年11月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…98.5 前月比 5.6% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、生産用機械工業など 10 業種が上昇し、化学工業、電気・情報通信機械工業など 4 業種が低下した。

品目別にみると、鉄道車両部品、超硬工具等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、3.6%と2か月ぶりの上昇となった。

(2) 出荷指数…98.8 前月比 3.7% 3か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、金属製品工業など6業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、石油・石炭製品工業など8業種が低下した。

品目別にみると、鉄道車両部品、小型乗用車等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、7.6%と2か月ぶりの上昇となった。

(3) 在庫指数…98.5 前月比 1.1% 3か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業、汎用・業務用機械工業など6業種が上昇し、金属製品工業、輸送機械工業など7業種が低下した。

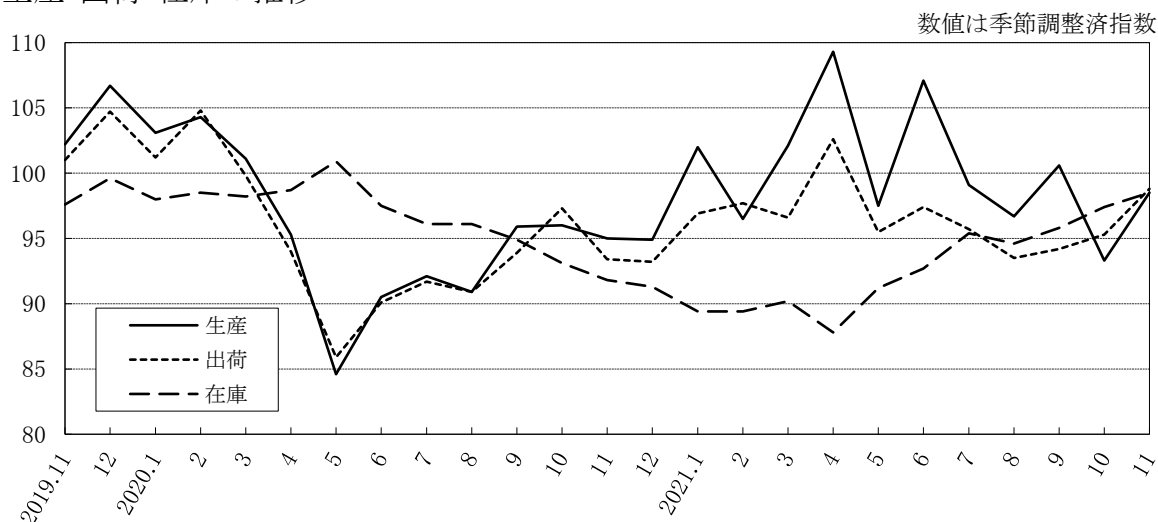
品目別にみると、セパレート形エアコン(室外)、乾電池等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、7.2%と3か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2021年 10月	93.3	▲ 7.3	99.5	▲ 2.8
	2021年 11月	98.5	5.6	99.9	3.6
出 荷	2021年 10月	95.3	1.2	96.8	▲ 4.9
	2021年 11月	98.8	3.7	100.8	7.6
在 庫	2021年 10月	97.4	1.7	96.9	4.6
	2021年 11月	98.5	1.1	97.8	7.2

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 5.6% 上昇 10業種
 低下 4業種
 横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	3.185	65.5	鉄道車両部品、小型乗用車
	生産用機械工業	1.638	13.3	超硬工具、ショベル系掘削機械
	金属製品工業	0.679	8.7	橋りょう、作業工具
	汎用・業務用機械工業	0.511	6.5	ポンプ、汎用内燃機関
	プラスチック製品工業	0.449	11.0	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム・シート
	窯業・土石製品工業	0.322	13.2	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	その他工業	X	X	金属製家具、マーキングペン
	食料品工業	0.295	3.4	チョコレート、菓子パン
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.194	2.5	鉄鋼切断品、アルミニウムはく
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.018	1.1	段ボール原紙
	その他の上昇した品目			セパレート形エアコン(室外)【電気・情報通信機械工業】、鉄道車両【輸送機械工業】
低下	化学工業	▲1.923	▲8.7	アンモニア、医薬品
	電気・情報通信機械工業	▲0.967	▲7.9	無線通信装置(除. 移動通信装置)、アーク溶接機
	電子部品・デバイス工業	▲0.638	▲29.3	アクティブ型液晶パネル
	石油・石炭製品工業	X	X	ガソリン、液化石油ガス
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	超硬工具	生産用機械工業
	3	小型乗用車	輸送機械工業
	4	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	5	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	6	鉄道車両	輸送機械工業
	7	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	8	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	9	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	10	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
低下	1	無線通信装置(除. 移動通信装置)	電気・情報通信機械工業
	2	アンモニア	化学工業
	3	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	4	医薬品	化学工業
	5	バンディングマシン	生産用機械工業
	6	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	7	ガソリン	石油・石炭製品工業
	8	産業用ロボット	生産用機械工業
	9	工業用計測制御機器	電気・情報通信機械工業
	10	金属工作専用機	生産用機械工業

(2) 出荷

前月比

3.7%

上昇 6 業種
 低下 8 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	3.553	43.0	鉄道車両部品、小型乗用車
	金属製品工業	1.193	14.5	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	生産用機械工業	1.046	9.3	超硬工具、装輪式トラクタ
	プラスチック製品工業	0.189	4.8	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器(中空成形)
	窯業・土石製品工業	0.067	3.6	無アルカリガラス基板、耐火れんが
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.057	4.3	衛生用紙
	その他の上昇した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、 電動アシスト自転車【輸送機械工業】
低下	電気・情報通信機械工業	▲1.203	▲14.4	無線通信装置(除. 移動通信装置)、 セパレート形エアコン(室外)
	石油・石炭製品工業	X	X	軽油、ガソリン
	化学工業	▲0.684	▲5.0	医薬品、アンモニア
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.352	▲2.8	亜鉛めっき鋼板、鋼半製品
	汎用・業務用機械工業	▲0.179	▲2.5	冷凍・冷蔵ユニット(除. 輸送機械用)、チリングユニット
	その他工業	X	X	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)、 木製家具
	食料品工業	▲0.082	▲1.0	ビール・発泡酒、ノンアルコール飲料
	電子部品・デバイス工業	▲0.014	▲2.7	電子回路基板
	その他の低下した品目			ペンディングマシン【生産用機械工業】、 灯油【石油・石炭製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

1.1%

上昇 6 業種
 低下 7 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	鉄鋼・非鉄金属工業	1.432	6.3	鉄鋼切断品、銅荒引線
	汎用・業務用機械工業	0.731	7.0	エアハンドリングユニット、汎用内燃機関
	電気・情報通信機械工業	0.409	2.8	セパレート形エアコン(室外)、乾電池
	窯業・土石製品工業	0.201	16.0	安全ガラス、無アルカリガラス基板
	石油・石炭製品工業	X	X	軽油、アスファルト
	プラスチック製品工業	0.055	1.6	プラスチック製パイプ、プラスチック製機械器具部品
	その他の上昇した品目			鋼半製品【鉄鋼・非鉄金属工業】、 普通鋼鋼矢板【鉄鋼・非鉄金属工業】
低下	金属製品工業	▲0.677	▲6.4	飲料用アルミニウム缶、ガスこんろ
	輸送機械工業	▲0.519	▲20.9	電動アシスト自転車、小型乗用車
	化学工業	▲0.226	▲1.4	柔軟仕上げ剤、合成洗剤
	その他工業	X	X	炭素繊維、工業用ゴム製品
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.025	▲1.4	紙器用板紙
	生産用機械工業	▲0.020	▲0.9	装輪式トラクタ
	食料品工業	▲0.008	▲0.2	食用油脂
	その他の低下した品目			陸上移動通信装置【電気・情報通信機械工業】、 分析機器【汎用・業務用機械工業】

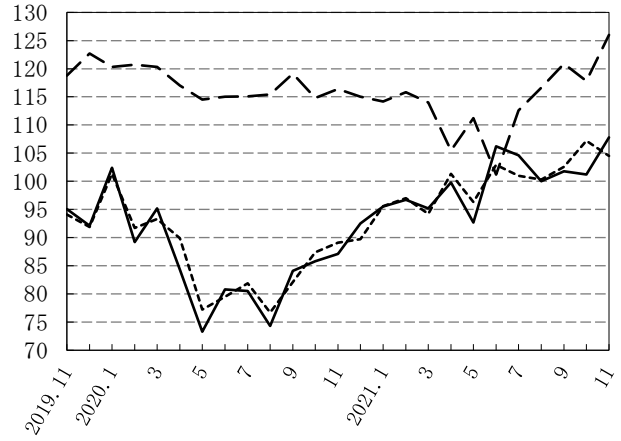
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

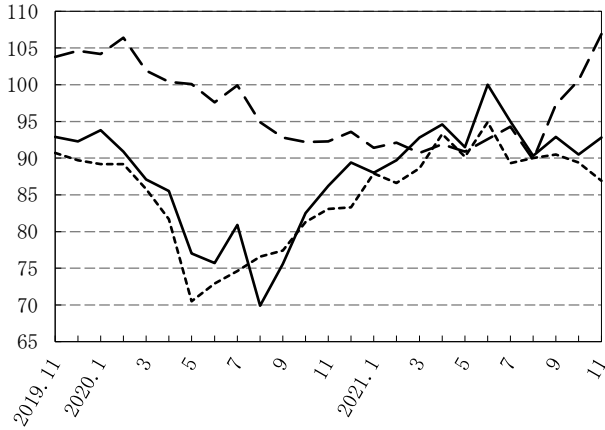
数値は季節調整済指数
2015年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

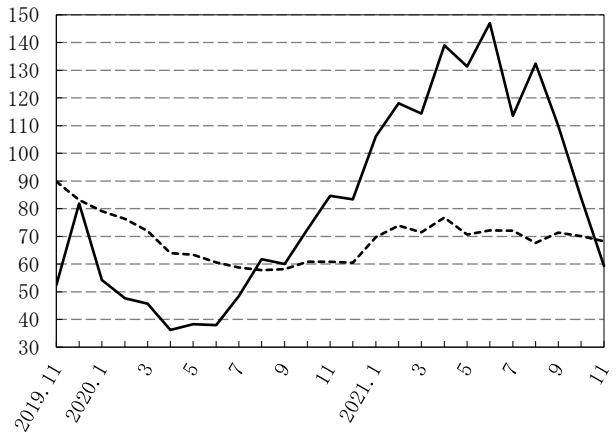
汎用・業務用機械工業



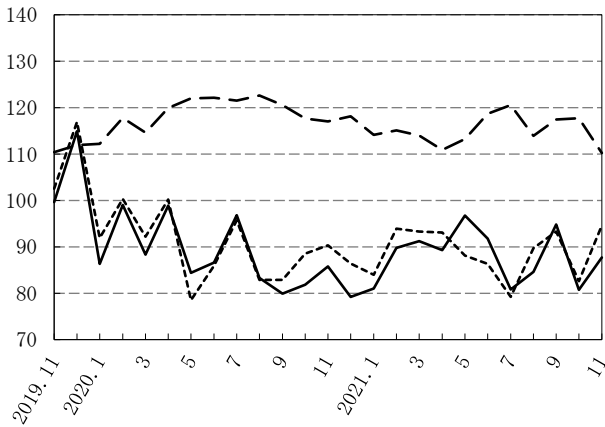
鉄鋼・非鉄金属工業



電子部品・デバイス工業



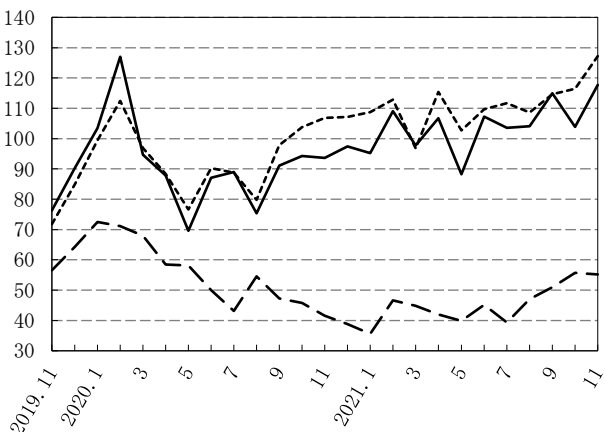
金属製品工業



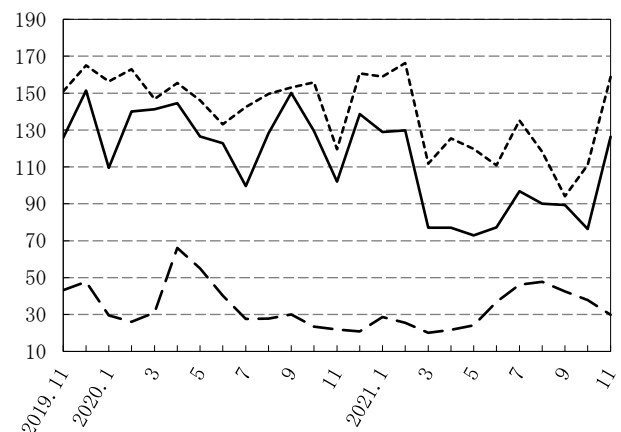
電気・情報通信機械工業



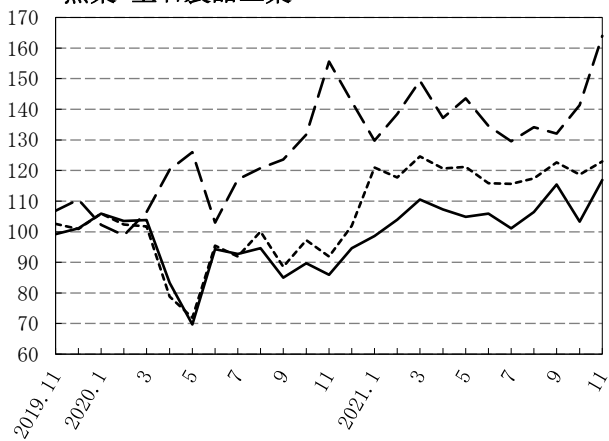
生産用機械工業



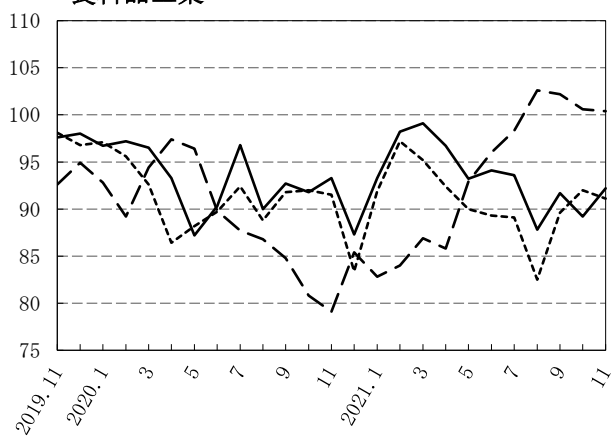
輸送機械工業



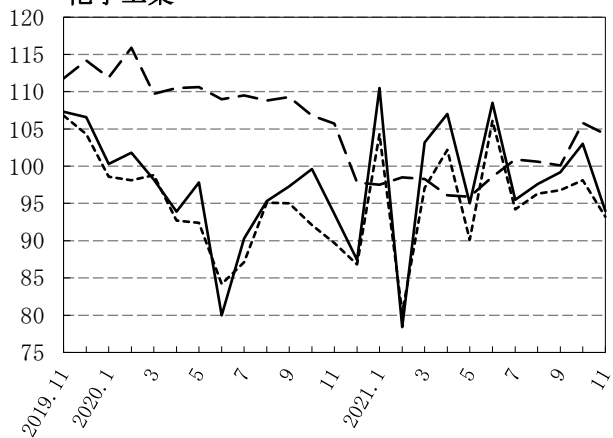
窯業・土石製品工業



食料品工業



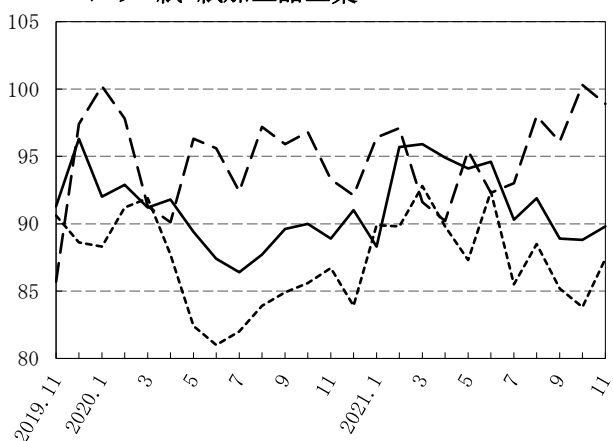
化学工業



プラスチック製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



注:「石油・石炭製品工業」「その他工業」は、秘匿に該当するため、掲載していません。

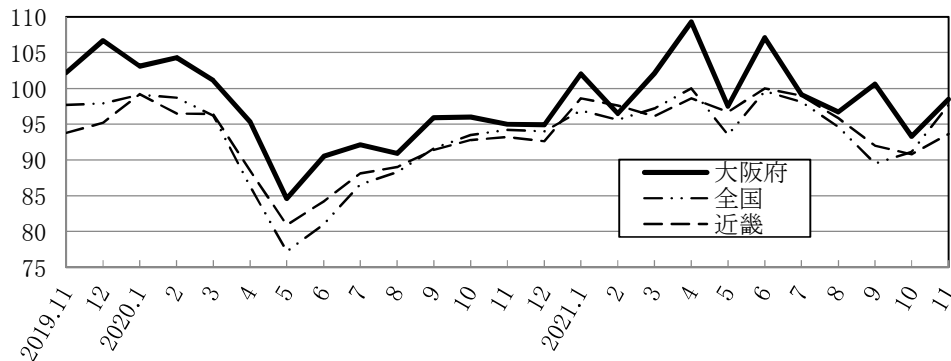
4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	98.5	5.6	97.7	7.2	93.6	3.1
出荷	98.8	3.7	95.3	7.4	92.5	4.4
在庫	98.5	1.1	100.4	1.7	103.6	1.2

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。「X」…… 秘匿に該当することを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数とします。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2020年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2021年11月速報(2022年1月31日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2021年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)